



ハイドロスタッフは地下にプラスチック製の空隙貯留浸透施設を埋設し、雨水を一時的に貯めたり、浸透処理することで流出抑制をはかる施設です。

埋設深度最大

4.8m

強化ユニットNを活用した場合の適用範囲です。水平土圧に対する性能は業界トップクラスです。

土被り最大

2.6m

標準ユニットRFと強化ユニットNを使い分ける事で、貯留槽上部の有効利用を図ります。

槽高最大

4.0m (10段)

ハイブリッドタイプと強化タイプにおける適用範囲です。狭い土地に必要な貯留槽容量を確保することが可能になります。

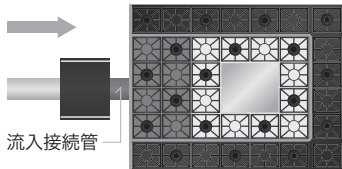
たいさ 堆砂抑制システム ※1 ※2

堆砂抑制システムとは、パーティションにより流入する土砂の拡散を防止するシステムです。

パーティション内は清掃が可能なため長期にわたり貯留槽機能を維持できます。

- 土砂を局所的に沈殿させる
- 人が中に入り掃除ができる
- たいさ 堆砂抑制効果 90%以上

(社内試験結果)



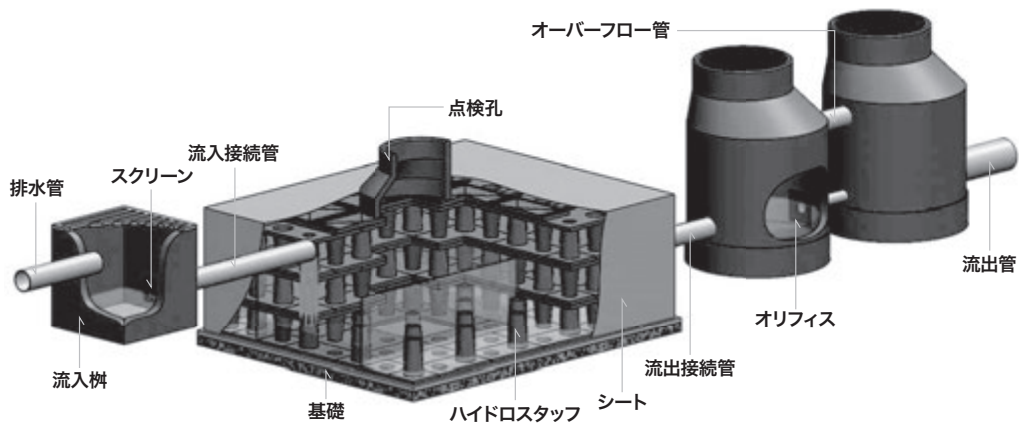
実際の内部写真

▲ 堆砂(たいさ)抑制パーティション立ち上げ部

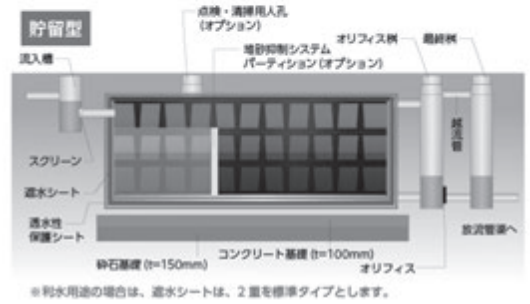
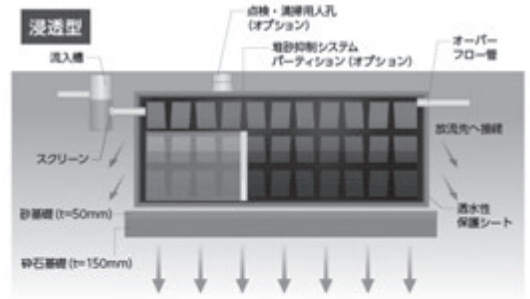
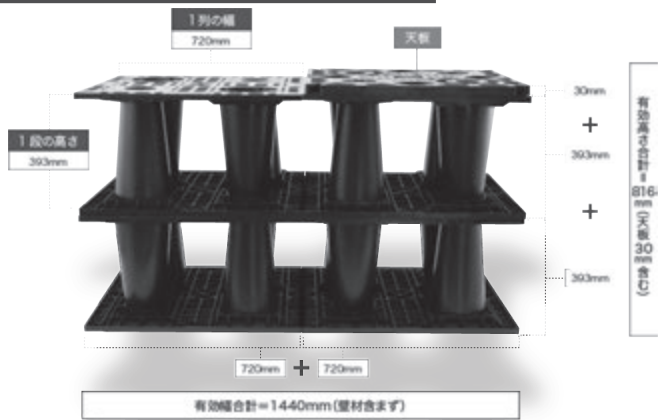
「たいさ 堆砂抑制システム」の考え方

流入枳内で沈殿しきれなかった粒径の小さな土砂は、貯留槽内に流れ込んでしまいます。本システムは流入枳で取り切れない粒径の小さな砂を堆砂抑制パーティション内一カ所に集め、点検孔内の清掃ができるように開発されたシステムです。

※1 オリジナル特許(類似品にご注意ください) ※2 このシステムはオプションです。



ハイドロスタッフの有効高さとは有効幅(2列2段槽の時)



	項目	ハイドロスタッフ	備考
仕様	空隙率	95%以上	RFBタイプ、標準タイプ
		94%以上	強化タイプ
	メンテナンス	槽内清掃が可能	堆砂抑制システムの場合
	貯留槽内目視点検	槽内目視点検が可能	点検孔がある場合

	項目	RFBタイプ	標準タイプ	強化タイプ	
		最小土被り(m)	T-8荷重まで T-25荷重まで	0.3 0.5	0.3 0.5
適用範囲	最大土被り(m)	単位体積重量 18kN/m ³ 相当時	2.0	2.4	2.6
	最大埋設深度(m)	単位体積重量 18kN/m ³ 相当時 地表載荷荷重 10kN/m ² 時	3.6	4.8	4.8
	最大槽高さ(m)	1層当たり 393mm×n層 + 30mm	4段 1.602	10段 3.960	10段 3.960

※設置条件に応じて交互強化タイプとなります。

